

代表者会議資料

1 第31回県会長杯の競技規則等について

- 2013年日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則による。
※ 「第31回宮崎県会長杯ミニバスケットボール交歓大会実施要綱」に準ずる。
- 保護者の応援場所や特別なルール等については、第1試合目が始まるまでに、会場の総務・競技担当と審判主任（副主任）が協議、決定する。チームの責任者（指導者や保護者代表）は自己責任のもと、決定事項については自ら確認しておくこととする。 ※ 特別なルール … スローイン時のディフェンス1m下がり等

2 第31回県会長杯の審判割り当てについて

- 1日目（17日）は、原則チーム帯同の審判でゲームの運営を行っていく。
- 2日目のAパートは、原則、B級及びC級審判員で運営していく。
- 2日目のBパートは、原則チーム帯同の審判、または、Bパート初日で敗戦したチーム帯同の審判（開催地区近隣）でゲームの運営を行っていく。
- 割り当ての変更や交代等は勝手に行わないようにする。意見や相談等があれば、必ず審判長に連絡を行う。その後、会場の審判主任か副主任と協議する。
- 出場チームは、審判ライセンスがD級以上の方を帯同審判とする。但し、2015年度までに日本公認資格を有していたE級の方は帯同審判として認められる。チームに、D級以上の審判がない場合は、各地区や知り合いなどを通して、帯同審判を確保する。旅費、謝礼、弁当代については各チームで決める。
- 代表者会議で、D級以上の帯同審判名と連絡先を記入する。

3 審判員の方へのお願い

- (1) 活動方針「尊重」「導く」「学び続ける」のキーワードに則りお願いします。
- (2) ベンチからアピールが来た場合は、まず、自分を振り返り、審判の動きの四原則をさらに心がけましょう。
- (3) 審判やテーブル・オフィシャルズ、相手チーム、自チームに対し、失礼な態度で接したり、言動などがあつたりした場合などはテクニカルファウルをとる勇気ももちましょう。特に、自チームの選手に対して、「馬鹿」「アホ」「ボケ」などの人権にかかわる暴言を言ったコーチ・アシスタントコーチに対しては、子どもを守る観点から、テクニカルファウルをとりましょう。
 - ☆ 子どもはミスしたくて、ミスしているわけではありません。
 - ☆ 「これまでの指導不足」と自分の責任にすることで、課題に対する解決策を考え、指導に生かすことができます。自分にとっても子どもにとってもWin-Winです。
 - ☆ 「馬鹿」「アホ」「ボケ」と我が子に言われる保護者の気持ちも考えましょう。
- (4) 今大会の重点項目は、「悪い手の使い方」です。

4 第2回審判講習会（D級新規・更新）について

- 場所 高崎総合体育館
- 日時 8：30～11：00
講習会参加者は、6月9日(金)までに、各地区の日本公認推薦員まで連絡をしてください。その後、各地区の日本公認推薦員は、審判長（笠）まで連絡をください。6月12日（月）締め切り

- 対象 指導者 ミニ連所属日本公認B級審判員
講習参加者 D級ライセンス（新規） D級ライセンス（更新）
意欲のある方（E級 C級 B級でも参加OK）
※ 新規の方は、必ず各地区の日本公認推薦員の推薦を受けてください。

- 内容
 - ① 8：30～ 開講式
 - ② 8：35～ 講義（前半）
 - ③ 9：30～11：00…1試合目観戦後・ミーティング参加
 - ④ 11：00～ 閉講式

- 準備物
印鑑（閉講式で、受講修了の印を押す際に必要です。）
服装は、正装でなくてもよいです。（ポロシャツ、短パンでOK。Tシャツ不可）
水分 筆記用具